

JLU第11期 2019年末闘争スタート 年末要求アンケートにご協力を



アンケート
QRコード

WING

日本航空ユニオン宣伝ニュース
No 478 (11-01)
2019年 9月 09日

Tel: 03-5756-8690 URL <http://www.jlu.co.jp> e-mail honbu@jlu.co.jp

9月5日、日本航空ユニオンは定期組合大会を開催し、第11期がスタートしました。そして2019年末闘争はすぐ始まります。まずは良い要求を作ることから。アンケートはWEBでも答えられます。【裏面は年末アンケートとなっています】

年末のスケジュールと取り組み

9月9日
アンケート開始

9月26日
アンケート締切り

10月1日
年末要求(案)作成

10月9日
中央委員会
要求決定・提出

11月05日
回答指定日

JU集会

11.22
航空の山場

幅広く 声を集めます

「JAL グループ全社員アンケート」でなるべく多くの声を集めて要求作りに役立てます。JLUはJALECに出向している整備士が中心の組織ですが、JALグループで働く地上職の待遇改善を求めています。身近な職場の問題や「あったらいいな」と思う手当などを教えてください。また、今までの要求で実現していないものを勝ち取るため、根拠を補強する意見もお待ちしています。

集めた声を会社へ

要求後、回答日までに2回の団交が行われます。集めた想いをどれだけ会社に伝えられるかが重要です。執行委員が直接現場の苦勞を話せば経営も耳を傾けます。多忙を極める年末ですが職場の代表を団交に送り出して下さい。それが働きやすい職場につながります。

団交の状況はJLUニュースや、回答後の集会でお伝えします。

消費税10月増税 続く物価上昇

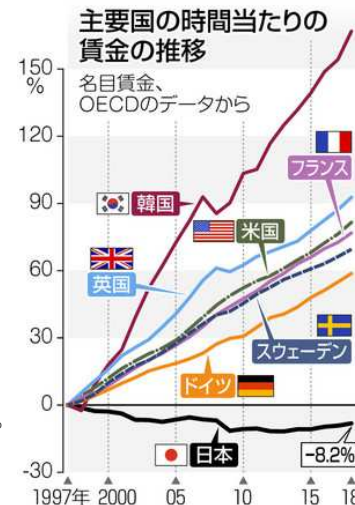
今年の春から冷凍食品や乳製品など食品の価格が上がっていますが、10月からついに消費税が10%に上がります。特例で、飲食料品（酒類と外食を除く）と週2回以上発行される新聞定期購読料は8%に据え置くものの、物価は上がり実質所得の低下は避けられません。プレミアム商品券やキャッシュレス決済でのポイント還元、住宅ローンや自動車税減税などの対策がどこまで有効なのかも不透明です。米中貿易戦争が原因で世界経済下振れのリスクが強まる中で、増税後の消費を拡大するには所得の向上が不可欠です。



内部留保は増加 賃金は低下

財務省が今月発表した調査によると大企業の18年度末の内部留保は約449兆円となり過去最高を更新しました。法人税負担の軽減など政府の優遇施策により毎年度増え続けています。その一方で、日本人の賃金が21年間で約8%減り、先進国中で唯一マイナスとなっていることが経済協力開発機構(OECD)の統計で明らかになりました。

日本航空の内部留保も1兆円を超えています。賃金とはいうと、ベースアップ、一時金で徐々に上がってきていますが、まだ不十分です。物価も上昇しているし、公共料金や社会保障料も確実に増えています。生活向上が実感できるように年末も改善を求めていきます。



「東京新聞 2019,08,29」

【WING478(11-01)号 2019,09,09】

裏面は「年末要求アンケート」です